

令和8年度
医療的ケア児等コーディネーター養成研修

演習1日目

R8.7.7

1 日目の獲得目標

医療的ケア児者の人生を応援する者として、本人の「意思決定」を尊重することができる。

2 日目の獲得目標

各自が専門職種を背景に、医療的ケア児等コーディネーターとして何をするのか、具体的にイメージできる。

【グループワークでは】

<さまざまな意見が出ることで、理解が広がり、深まります>

- ・自分の意見を伝える

遠慮せず、自分の考え・意見を明確に伝えます。

正解、不正解はありません。

テーマに沿っていれば、突飛な意見でも構いません。

全員にバトンが渡るよう、簡潔に話します。

- ・人の意見を聞く

意見を述べている人に体・目線を向けます。

あいづち、うなづきなどを入れます。

相手の意見を尊重し、否定、批判はしません。

「自己紹介」

所要時間は目安です。
当日のアナウンスに従ってください。

<グループワーク> 18分

- ・ 1人あたり3分程度
 - ①氏名と所属、職種
 - ②現状での各自の医ケア児等との関わり
 - ③この研修で学びたいこと
 - ④好きなこと（食べ物、趣味などなんでも！）

「私の活動イメージ」

所要時間は目安です。
当日のアナウンスに従ってください。

<個人ワーク> 「私の活動イメージ」 3分

- ・コーディネーターとして、自分はどのように活動するか。
- ・基礎職種をベースに考える。

<グループワーク> 「私の活動イメージ」 15分

- ・個人ワークの結果をグループでシェア

「本人・家族にとってどのような支援が必要か」

所要時間は目安です。
当日のアナウンスに従ってください。

<個人ワーク> 「本人・家族にとってどのような支援が必要か」

5分

- ・ どうしたら本人・家族のニーズがわかる？
- ・ 誰が、どのように把握できる？
- ・ あなた（参加者の基本職種では）はどのように把握できる？

<グループ共有> 「本人・家族にとってどのような支援が必要か」

15分

- ・ 個人ワークの結果をグループでシェア

「これから家で生活をする」

所要時間は目安です。
当日のアナウンスに従ってください。

<個人ワーク>5分 ※付箋に書き出す

- ・ご家族の思い、希望として想定されることは？
- ・どんな資源が使える？関係機関はどこ？どういう支援が入れば、在宅生活ができる？

<グループワーク>「これから家で生活をする」 20分

- ・個人ワークで書いた付箋を共有し、内容が似ているもの同士を集めて小グループをつくる。
- ・作ったグループにタイトルをつけながらまとめる。

<全体共有>「これから家で生活をする」 15分

- ・発表のポイント

2分以内

家族の思いや希望

まずはどのような資源が使えるそうか、どこが関係機関になりそうか

本人・家族の希望を踏まえた社会資源等がたくさん挙がることを目標とする

ワーク

所要時間は目安です。
当日のアナウンスに従ってください。

就学前に必要な支援を考える

<グループワーク> 20分

- ・どのような支援ができるかよいですか。
(こどもの発達、集団参加、家族支援、学校就学に向けて、など
様々な視点で)
- ・その支援は、どこ（だれ）がどのように行いますか。

<全体共有> 10分

学齢期に必要な支援を考える

成長に伴い、病状の変化（必要なケアの変化）も起きています。

<グループワーク> 20分

- ・ 本人や家族の思いを踏まえどのような学齢期を過ごせるといいですか？
（モノ、人、制度、気持ち、環境、スキル、知識、卒業後の進路など、
様々な視点で）
- ・ どこ（だれ）がどのように支援しますか。

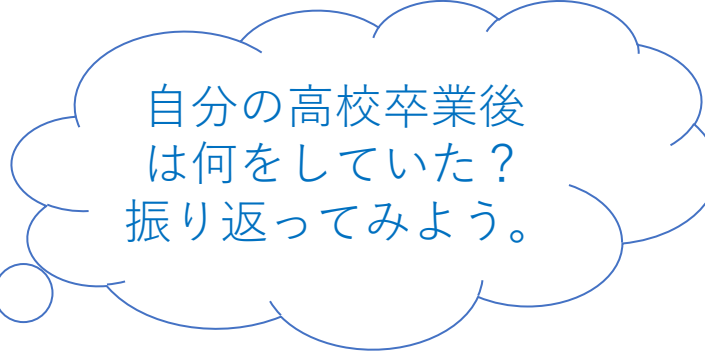
<全体共有> 10分

所要時間は目安です。
当日のアナウンスに従ってください。

「Aさんの将来の夢」

<グループワーク> 「Aさんの将来の夢」 25分

- ・ Aさんの成人期を想像してみる
- ・ 本人は、どこで、どのような生活をしたいだろう？何がしたいだろう？



自分の高校卒業後
は何をしていた？
振り返ってみよう。

<全体共有> 「Aさんの将来の夢」 15分

- ・ 発表のポイント
1分以内
どこで誰と暮らしているか
楽しみにしている日中活動、好きな時間、地域社会との本人の接点
家族の思い、希望として想定されること
どういう支援が入れば、夢が叶う？

< 2日目に向けての宿題 >

- ①各自の地域の「医療的ケア児者が利用できる資源、医療的ケア児者に関する取り組み」を調べる。

※児童だけでなく、成人以降の取り組みについても調べる。

- ②「医ケア児者支援に関して課題と感じていること」を考える。

われわれの仕事の主要な場所は地域である 地域を資源のオアシスとしてとらえる

